

東原 章議員
市民グループ未来の会



地域づくり団体全国研修
交流会香川大会坂出分科会
の内容と地域住民の協力は

Q 8月に交流の里おうごしで第35回地域づくり団体全国研修交流会香川大会坂出分科会が開催されたが、その内容と地域住民にどのような協力を得られたのか。

A 初日はオリエンテーションや意見交換会を開き、2日目は里海ツアーにて王越の自然のすばらしさを体験してもらうなど、2日間を通して、地域づくりに役立つ知識や技術の習得、新たな交流や連携の輪を広げることができました。

また、初日の夜に開催した交流会では、地元婦人会の方々による手作りの郷土料理が振る舞われ、分科会を委託していた、王越町共に生きるまちづくり推進協議会の皆様には、プログラムの綿密な打ち合わせや施設周辺の草刈りなど大変なご苦労をいただきました。そのかいもあり、分科会参加者からは、心温まるおもてなしに大変感動したとの言葉もいただいています。

(市民生活部長)

利用者の感想から見えてきた、交流の里おうごしの課題と対策は

Q 交流の里おうごしの利用者を対象としたアンケート結果から見えてきた、当該施設の課題と今後の対応策は。

A 当該施設の利用満足度は高く、「今後も当該施設を利用してみたいですか」の問いにもほとんどの利用者が「はい」と答えています。

このような中で、今年は例年になく猛暑が続く、4団体からのエアコン設置要望を受けて、スポットクーラーによる利用者への配慮を講じました。

今後は、アンケート結果等も踏まえ、当該施設の利用者が、王越の豊かな自然と快適な環境を十分味わうことのできるような施設の整備を図っていききたいと考えています。

(教育委員会参事)

質問の項目
・住みたいまちさかいてについて
・健康のまちづくりについて

住みたいまちさかいてについて
健康のまちづくりについて

山条 忠文議員
改進の会



学校現場の業務改善目標推進
のため連携体制の構築を

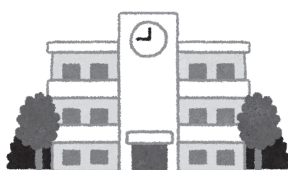
Q 学校現場の業務改善は喫緊の課題であるが、その目標を推進するためには、服務監督権者である教育委員会が委員会内に連携体制を構築し、また、勤務実態を把握する義務がある。今後、積極的な取り組みが必要では。

A 現在各学校において、教員が担うべき業務に専念できる環境を整備すること及び教員の長時間労働という働き方の改善をすることで業務改善に取り組んでいます。

これまでも定期的に校園長会で各学校に指導を行い、また、学校訪問時等を活用し、学校長及び管理者が積極的に教職員の勤務実態を把握するよう努めています。

喫緊の課題に対しては、継続した取り組みが必要であり、今後も各学校と連携、協議し、改善を図っていきます。

(教育長)



市税等の滞納額及び賦課
徴収業務に取り組む姿勢は

Q 市税等の滞納金額はいくらか。また、賦課徴収業務にあたり、法令の遵守とともに今後の取り組み姿勢は。

A 平成28年度決算で滞納繰越分を含めた収入未済額は、市民税約1億6,329万円、固定資産税約2億1,705万円、軽自動車税約1,547万円、国民健康保険税約3億4,987万円、介護保険料約2,432万円、後期高齢者医療保険料約489万円となっています。

市税等の未収債権の収納率の向上については、市民負担の公平性と財源確保の観点から、非常に重要であると認識しており、債権管理のさらなる適正化に向け、債権発生時における早期の取り組みを強化するとともに、悪質滞納者に対しては、法令に基づき厳正に対処するなど取り組みを強化していきます。

(市長、総務部長)

質問の項目
・我が事「九こと」の地域づくり
・モデル事業について
・新たな住宅セーフティネット制度について

我が事「九こと」の地域づくり
モデル事業について
新たな住宅セーフティネット制度について